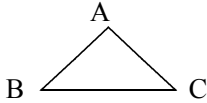
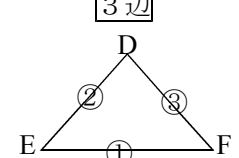
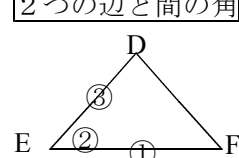
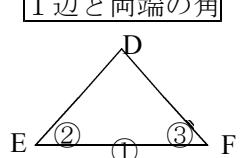
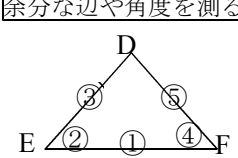


過程	教師のかかわりと予想される子どもの活動	評価
つかむ	<p>右の三角形 ABC を 2 倍に拡大した三角形 DEF をかこう。</p> 	一斉
	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は、方眼がないぞ。白紙にかくんだな。 ・方眼なしで、どうやってかいたらいいだろう。 	
	<p>三角形の拡大図を方眼なしでかくには、どのようにかいたらよいだろう。</p>	
見通す	<ul style="list-style-type: none"> ・辺の長さや角の大きさがわからないとできないな。 ・角度はすべて同じで、辺の長さを 2 倍にすればいいな。 ・辺の長さの比が 1 : 2 になるようにかこう。 ・どんな順序でかいたらいいだろう。 	
追究する	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p style="text-align: center;">3 辺</p>  <p>①辺 EF → ②辺 ED → ③辺 FD</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p style="text-align: center;">2つの辺と間の角</p>  <p>①辺 EF → ②角 E → ③辺 ED</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p style="text-align: center;">1 辺と両端の角</p>  <p>①辺 EF → ②角 E → ③角 F</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p style="text-align: center;">余分な辺や角度を測る</p>  <p>①辺 EF → ②角 E → ③辺 ED → ④角 F → ⑤辺 FD</p> </div> </div>	個
	<p>*測った辺の長さや角度、描いた順番を図に書き込むように伝える。 ☆作図方法がわからない A には、コンパスと分度器のどちらか選ばせ、「辺 EF の次はどこを測る？」と順序を確認しながら進めていく。 ☆早くかけた B には、他のやり方を考えるように伝える。</p>	
	<p>○グループで、測った場所やかいた順番を説明し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部の辺の長さや角の大きさを測ったけれど、必要なところを 3 か所測ればよかったんだな。 ・他にもやり方があるんだな。 ・分度器を使わなくても、コンパスと定規だけでかく方法があるんだな。 	グループ
	<p>○出された作図方法で気付いたことを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つのやり方がある。 ・角の大きさはそのまま、辺の長さを 2 倍してかいている。 ・合同な三角形をかいたときと条件が同じ。 ・どの方法も 3 か所だけ測ってかいている。 	一斉
	<p>○はじめとは違った方法で、2 倍の拡大図をかいてみよう。</p>	個
まとめる	<p>○今日の学習で学んだことをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の 2 倍の拡大図は、角の大きさはそのまま、辺の長さを 2 倍して、あとは合同な三角形をかくときと同じようにかければよい。 	
	<p>○ふり返りをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2種類のかき方ができたから、残りの方法でもかいてみたい。 ・はじめは作図できなかったけれど、○○さんの考えを聞いてできるようになってよかった。 	<p>*はじめに作図できなかった子には、同じ方法でもよいので作図を完成させるように伝える。</p> <p>(評) 拡大図の性質や合同な三角形のかき方を基に、2 倍の拡大図をかくことができる。 (技能：ワークシート、発表)</p>